

主体的に運動に親しむ資質や能力の基礎を育てる体育学習の在り方

～主体的・対話的で深い学びの視点に立った器械・器具を使っての運動の実践を通して～

発表者 西都市立妻北小学校 長友 健悟

司会・進行 西都市立穂北小学校 井川 智子

発 言 者	内 容
上江小学校 米良先生	<p>○ ICTの活用について、こういったものを使ってポイントの確認をしているのですか。NHKなどもありますが。</p> <p>→ 器械運動の手引きを使って行っています。NHKforSchoolを使って、授業でも示している。上手な子の動きを撮影して示してもいる。</p>
清武小 松田先生	<p>○ 器械運動の場づくりの時間確保はどのようにされているのですか。</p> <p>準備運動はどのようにされていますか。</p> <p>→ 体育館の決まった場所に道具を置いています。跳び箱を載せられる台車を置いて自由に動かせるようにしています。年間指導計画の中で、マット運動の時期などは他の学年とそろえてもいます。</p> <p>準備運動については、茶臼原小学校を例として出しますと、5分ほどの時間を使って主運動にかかわる体力を継続的につけるようにしています。</p> <p>茶臼原小学校では、すすくタイムでは発表の場を設けたり、全校体育でも行ったりしています。資料などは、西都市の小体連から年度末に余った予算で配っています。</p>
田代小学 徳丸先生	<p>○ 場づくりや、年計をどのようにして周知させているのですか。</p> <p>→ 体育の指導については、夏の実技研修での伝達ともかねて本校での体育についても伝えていきます。学年でのまとまった授業の中で見せながら、共有している。</p>
栗須小 野邊先生	<p>○ ICTのおすすめのアプリを教えてください。</p> <p>→ はなまるフォームというのがあります。3秒までの映像を再生するなど、前の時間の映像を流すことで、マット運動などで自分のフォームを見返すために活用しています。</p>